

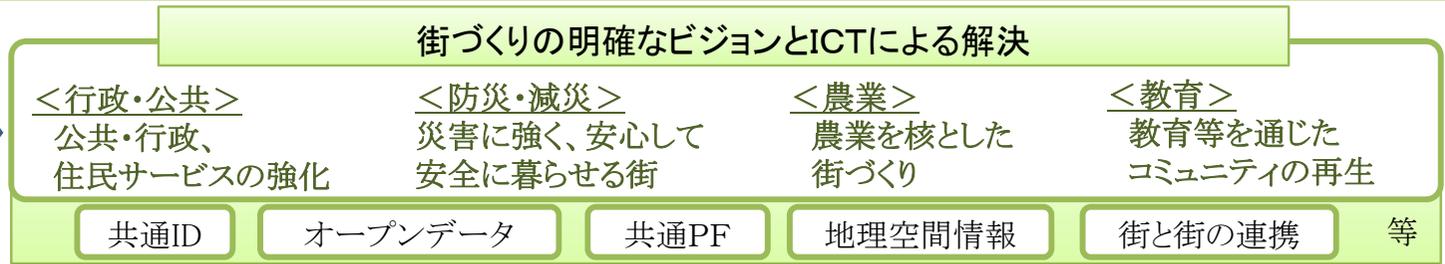


- センサーやクラウド等の最先端のICTを活用して地域の発展／課題解決を図る「ICTスマートタウン」のプロジェクトを加速化し、全国20箇所程度で展開。規制・制度改革と一体的に検討することで最大限の効果を得る。
- 普及展開のための共通基盤を2015年に実現し、国内外への戦略的展開を図り、2018年頃の普及を目指す。
- 各府省とも連携し、政策資源を集中投入。

地域の元気  
創造本部と連携

## 「ICTスマートタウン」実証プロジェクトの展開・加速化

- 最先端のICTを活用して地域の発展／課題解決を図る、街の「自立」を意識した「ICTスマートタウン」の実証プロジェクトを主要拠点(約20箇所)で展開・加速化。
- 実証プロジェクトの活動状況の把握・見える化
- 住民参加型のシンポジウムの開催等により、住民からの関心を高める。



## 共通プラットフォームの実現

- 広域連携／官民連携のための共通プラットフォームを2015年に実現 (モノ、時間、場所等、あらゆるものをIDで管理)
- 産学官が連携して技術的要件、標準化等を検討

## 実証プロジェクトで得られた成果の普及展開のための体制整備

- 実証プロジェクト関係者を中心に推進体制の構築
- 実証プロジェクト成功事例の水平展開 (ICTスマートタウンを実現する上での課題の抽出、情報共有)
- グローバル展開方策の検討 (ITU等の議論への貢献、国際戦略の明確化、国際シンポジウムの開催 等)

2018年頃のICTスマートタウンの普及展開

# 共通プラットフォームの目的

## 共通プラットフォームの目的

- 複数分野のサービス、データが相互に連携することが可能な共通プラットフォームが実現することにより、街全体の活性化、効率的な街づくりの実現、既存の枠組みを超えた新たな社会サービスの創出等に寄与。また、他の地域への容易な水平展開や連携を実現。
- 人、モノ、場所、時間、組織等に関する**多種多様なデータを共通IDで管理**
- センサー等から収集する**リアルタイムデータ(ビッグデータ)の活用**
- 共通プラットフォームにより、**他の地域への容易な水平展開と地域間の連携を実現**
- 街で生み出される**多種多様なデータをオープン化し、民産学公官の様々な主体が活用**
- 共通プラットフォームを通じた、**民産学公官による複数分野のデータ連携、利活用**
- 複数の街が連携しながら、全体として必要な機能を持つ**分散した街の「協調」を実現**



(共通PFのイメージ)

## 共通プラットフォーム

